

# 東川町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

東川町は、旭川市との間を結ぶ民間路線バスと町内移動を担うスクールバス、乗合タクシーが住民生活に不可欠な公共交通となっている。旭岳地区の温泉等観光地への観光交通の充実化も旭川空港を結ぶことで交通の円滑化が顕著な伸びに繋がっている。地域との協働による乗合タクシーは、平成24年度で4年目を迎え高齢者からの信頼や公共交通の充実に期待がされている他、新たな観光交流の活性化、バス利用の向上等に向け、安心安全に生活できる地域の公共交通の維持及び観光客にわかりやすい観光交通体系の構築の検討も進めている。

## 東川町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

・3年間のデマンド実証運行から平成24年度本格運行へ移行し、移動の充実を図るとともに伴に交通空白地の解消と利便性の充実を図る。

・区域運行により、ネットワークの良い身近な運行体制を進める。

・デマンド運行の実施により、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保され、効率的な運行体系が実現できさらには、区域運行により、利便性が高まり、多様なニーズへの対応を実現することができる。

目標:4月～9月 281人/月 10月～3月 372人/月 年間3,916人

## 平成25年度事業概要

デマンドバスは地域内路線と位置付け、基幹路線である既存の公共交通機関の路線バス(地域間幹線バス系統である(旭川電気軌道(株)の「いで湯号」)に接続し、6便/日を運行している。

## 地域公共交通の現況

- ・旭川電気軌道(株)  
60番、67番・76番、66番(いで湯号)
- ・町営 スクールバス(3路線) 5便/日
- ・東交ハイヤー(株) 一般営業  
乗合タクシー 6便/日  
(運賃大人150円 小人70円)

## 東川町地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・平成24年2月2日  
第11回東川町地域公共交通会議を開催  
平成24年度乗合タクシー運行に向けて、  
一般乗合旅客自動車運送事業(区域運行)許可申請承諾
- ・平成24年6月13日  
第12回東川町地域公共交通会議を開催  
生活交通ネットワーク計画を承認

## 平成25年度事業の実施状況

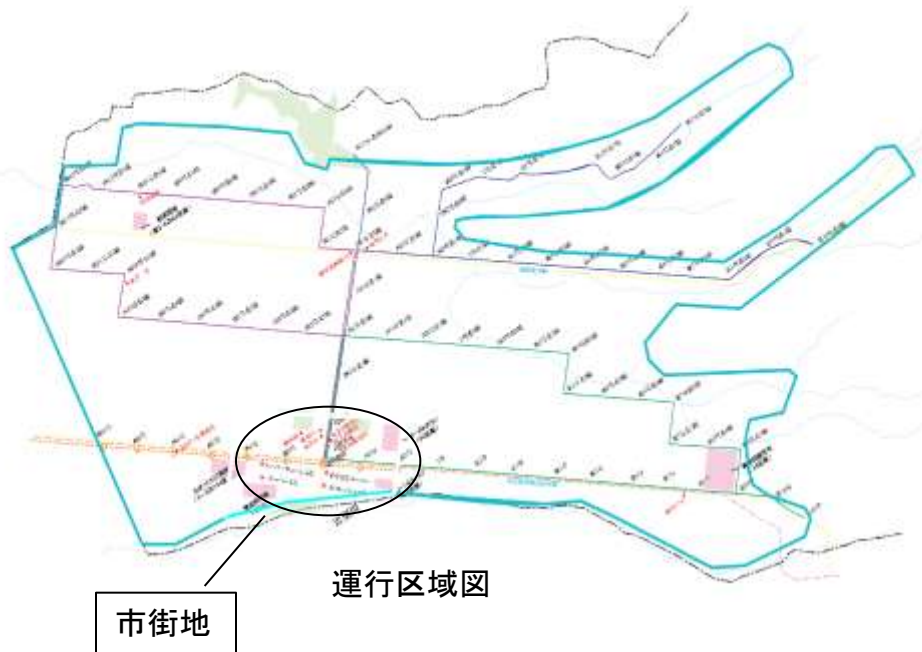
### 1) プロセス、創意工夫

・平成23年度の実証実験を踏まえ、乗合タクシー予約方法等の改善を図るとともに利用者ニーズにあった継続可能な運行システムを構築した。

乗合タクシーの利用

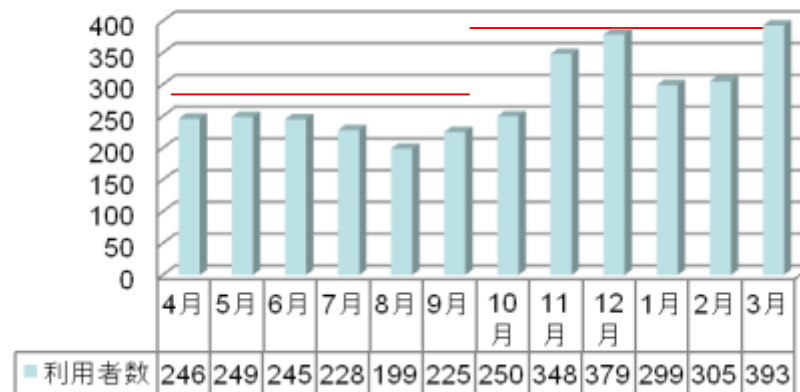
- 中心市街地区域では、指定された場所の見直し
- 当日予約したい方は、条件付で発車1時間前までの予約を継続する。
- 利用予定が決まっている場合(例えば、毎週月曜利用、何日間か続けて利用など)は、まとめて申し込みを実施する。

### 2) 運行ルート



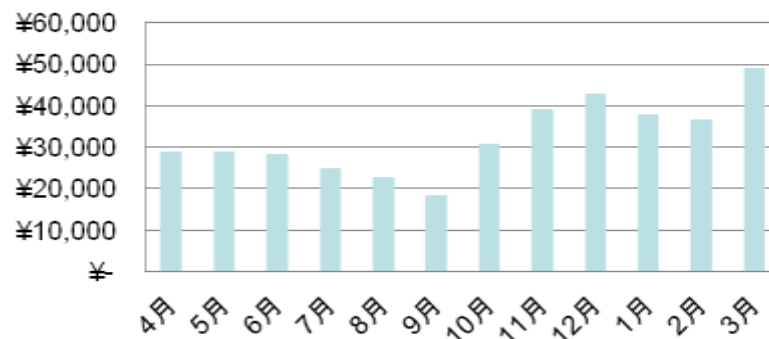
### 3) 利用実績

#### 利用者数



### 4) 収入実績

#### 運行収入



## 5) 事業実施の適切性

平成21年～平成23年に地域公共交通活性化・再生総合事業よりの実証運行により見直しを重ね、平成24年度ネットワーク計画に基づき事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

前年度の10%増を目標とし4月～9月281人/月に対し実績232人/月、10月～平成25年3月372人/月に対し実績329人/月の利用人数であった。通年通しての目標達成は厳しい状況。

当初高齢者の外出(通院、買物、クラブ活動等)利用を見込んでいたが思ったより少なかった。

移用者のリピーターが増えてきているが、新規の利用者の伸びが見られなかった。

## 7) 事業の今後の改善点

- ・乗合タクシーの自主運行をより確実にするために予約方法や配車方法などを検討するとともに、使いやすい運行システムに改善していく。
- ・受益者負担として納得できる運賃を検討し実施する。
- ・車体広告などの運行収支の向上を図る収益事業を検討し実施する。
- ・周辺自治体や関係企業、教育機関などとの提携や連携を模索し、負担の分散や人的、物的協力を要請し、実施を検討する。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。
- ・一方、収入・利用者ともに増加基調にあるものの、現時点では前年度の実績値に満たないことから、現状の実績を踏まえた目標値の再設定と特に新規利用者獲得に向けたモビリティマネジメント等の実施を期待する。